

令和3年度

「北九州市中小企業振興条例」に基づく

中小企業の振興に関する施策の実施状況報告（概要版）

1 概要

「中小企業振興条例」第13条に基づき、中小企業の振興に関する施策の実施状況について、毎年、議会に対して報告するとともに、議会への報告後は、速やかに公表するものとする。

2 構成

報告書の作成にあたっては、市内中小企業の現状、市内中小企業の抱える課題、主な中小企業の振興に関する施策について掲載している。

3 掲載内容（主なもの）

（1）市内中小企業の現状について

市内事業所の99%、従業員数の約8割を占める中小・小規模企業は地域経済の要であり、雇用を支える重要な役割を担うものと認識している。しかしながら、人手不足や高齢化といった従来からの構造変化に加え、新型コロナウイルス感染症の影響による事業環境の変化など、中小企業を取り巻く環境は、非常に厳しいものとなっている。

【規模別 中小企業・小規模企業の事業所数・従業員数】

	全産業	中小企業	
		中小企業	小規模企業
事業所数	41,772件	41,358件 (99.0%)	29,128件 (69.7%)
従業員数	434,714人	339,762人 (78.2%)	96,696人 (22.3%)

出典：H28経済センサス（活動調査）

（2）市内中小企業が抱える課題について

令和3年度は、令和2年度に続き、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う売上減少、および資金繰りの悪化、従業員の雇用維持、感染防止対策への対応が挙げられる。

さらに、従前から、中小企業が継続的に抱えている、経営力強化に向けた労働生産性の向上、労働人口の減少に伴う働き手の確保、経営者の高齢化による事業承継などの課題について、対応する必要がある。

なお、ウィズコロナ、アフターコロナ、原油高・資材高等に対して、イノベーションを促進し競争力を強化するDXの導入や、持続可能な成長と新産業、新たな雇用を生み出すゼロカーボン、グリーン化への対応、SDGsの推進にも、今後取組む必要がある。

(3) 令和3年度の主な中小企業の振興に関する施策

ア 新型コロナウイルス対策に関する支援

(ア) 新型コロナウイルスに関するワンストップ相談窓口運営事業（第9条第4項）

新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けた市内事業者の支援のため、市内3か所（戸畑・小倉・黒崎）に事業者向け相談窓口を設置し、資金繰りや雇用調整助成金等の活用を支援した。

相談対応件数	14,787件
--------	---------

(イ) 中小・小規模企業融資（第9条第2項、第4項、第12条）

市内中小・小規模企業が、事業を行う上で必要な運転資金や設備資金を円滑に調達できるよう、危機関連保証、セーフティネット保証の認定を行い、金融機関と福岡県信用保証協会と連携して、中小・小規模企業の資金繰りを支援した。

実施件数	1,720件、約214億円
------	---------------

(ウ) 北九州市中小事業者一時支援金（第9条第4項）

令和3年1月から3月の期間に売上が減少した事業者で、県の感染拡大防止協力金や国の一時支援金等の給付対象外となる事業者に対し、支援金を給付した。なお、支援金の給付は、令和3年4月から実施。

支給件数	1,849件	支給額	2億1,750万円
------	--------	-----	-----------

(エ) 北九州市中小事業者月次支援金（第9条第4項）

令和3年5月、6月、7月、8月、9月又は10月の月間売上が減少した市内に事業所を有する事業者で、県の感染拡大防止協力金（大規模施設及び大規模施設内のテナント含む）の支援対象外となる事業者に対し支援金を給付した。

支給件数	16,553件	支給額	15億3,944万円
------	---------	-----	------------

(オ) 北九州市家賃等賃借料支援金（第9条第4項）

令和3年5月、6月、8月、9月の県の緊急事態措置やまん延防止等重点措置に伴う休業要請等に応じた市内の施設を運営する事業者に対し、事業に必要な建物・土地に関して、家賃等賃借料支援金を給付した。

支給件数	15,100件	支給額	20億9,817万円
------	---------	-----	------------

(カ) 商店街プレミアム付商品券発行支援事業（第9条第2項、第11条）

福岡県の助成制度と合わせて、商店街等が自主的に取り組むプレミアム付商品券の発行を支援した。

発行団体	延べ64団体	発行総額	約110億円
------	--------	------	--------

(キ) 宿泊施設を活用したテレワーク支援（第9条第1項）

市内宿泊施設をテレワークの場や一時的な滞在先として提供することにより、感染拡大を防止するとともに、感染拡大期に宿泊者の減少により厳しい経営を強いられている宿泊事業者を支援した。

【1回目】	44施設	24,725人	助成金額	69,828千円
【2回目】	35施設	14,451人	助成金額	40,702千円

(ク) 宿泊モニターキャンペーン（第9条第1項）

割引販売を条件に市が部屋を買い上げ、宿泊モニターに格安で販売するキャンペーンを実施し、市内宿泊事業者への経済的支援や本市の観光需要回復を図った。

参加施設：59施設	宿泊数：25,287人泊	助成金額：78,260千円
-----------	--------------	---------------

(ケ) 北九州市宿泊施設等改修事業補助金（第9条第4項）

本市に來訪する旅行者に安全、安心に旅行を楽しんでいただくため、市内の宿泊施設等が行う感染防止対策、ワーケーションスペースの設置などを目的とする取組に対して、福岡県と連携して助成した。

助成施設：70施設	助成金額：94,179千円
-----------	---------------

イ 生産性向上に関する支援

(ア) 先端設備等導入計画（固定資産税ゼロ特例事業）（第9条第1項）

本市では、国が創設した償却資産に係る固定資産税の特例措置を活用して、中小企業等の新規設備投資に係る固定資産税を3年間ゼロとしており、中小企業がこの制度を利用する際に必要となる「先端設備等導入計画」の受付・計画認定を実施し、生産性向上に取り組む中小企業の支援を実施した。

認定件数	80件	投資見込み額	約33億1,000万円
------	-----	--------	-------------

(イ) 中小企業のDX推進支援事業（第9条第1項）

市内中小企業が実施する、ITを活用した遠隔地からの保守管理システムの開発、HP制作、製品管理システムの導入検証、ペーパーレス化などDXに向けた各種取組経費の一部を補助した（令和2年度より開始）。

交付件数	47件	交付額	65,039千円
------	-----	-----	----------

(ウ) 北九州市中小企業の競争力を生み出す省エネとRE100推進事業（第9条第4項）

脱炭素社会の実現に向け、市内の事業所へ自家消費型太陽光発電設備、小型風力発電設備、蓄電池、エネルギーマネジメントシステムや最先端の省エネ機器（更新に限る）を導入する中小企業等に対し、費用の一部を補助した。

交付件数	8件	交付額	16,742千円
------	----	-----	----------

ウ 人材確保に関する支援

(ア) 中小企業人材確保支援助成金（第9条第4項）

市内中小企業者における人材確保を支援するため、市内の中小企業団体が、若年者や女性等の人材確保を目的として独自に取り組む、業界のイメージアップや職場環境の改善などを図る事業に必要な経費の一部を助成した。

助成件数	3件	助成額	679千円
------	----	-----	-------

(イ) ものづくり中小企業女性等職場環境改善支援事業（第9条第4項）

ものづくり分野での女性や高齢者の人材確保や定着を支援するため、市内の中小製造業者・建設業者が、女性専用設備（トイレ、更衣室、休憩室等）や女性や高齢者の作業をアシストする機器の設置など、女性や高齢者が働きやすい職場環境の改善に取り組む際に必要な経費の一部を助成した。

助成件数	7件	助成額	3,454千円
------	----	-----	---------

エ 中小企業の事業承継に関する支援

(ア) 円滑な事業承継・M&A促進事業（第9条第1項）

市内の中小企業が持つ優れた技術や経営資源を将来にわたって継続させ、雇用の場の確保などを図っていくため、啓発セミナーの開催や訪問相談、事業承継の具体的な取組みに要する経費の一部助成など円滑な事業承継をトータルで支援するとともに、調査を実施した。

セミナー参加者	126名	訪問相談	10回	助成額	2,500千円
---------	------	------	-----	-----	---------

オ 受注拡大・販路開拓に関する支援

(ア) 北九州発！新商品創出事業（北九州版トライアル発注制度）（第9条第1項）

市内中小企業者が開発した独創性豊かな新商品及び新サービスを認定し、広報支援やトライアル発注を行うことで販路拡大を支援した。令和3年度は、「DX促進枠」を新設し、新商品の普及による市内企業のDX促進にも取り組み、市内企業の競争力強化を図った。

認定件数	DX促進枠	3件
------	-------	----

(イ) 北九州市中小企業海外展開支援助成金（第9条第4項）

市内企業が海外展開に取り組みやすい環境を整えるため、海外での市場調査、見本市出展などに対し、その経費の一部を助成するもの。

令和3年度は、「越境EC販路開拓助成事業」及び「認証等取得助成事業」を7月から新設するなど、支援を拡充した。

市場調査等助成事業	2件	129千円
海外見本市等出展助成事業	1件	300千円
認証等取得助成事業	2件	200千円

(ウ) 中小企業DX促進事業（第9条第1項）

販路拡大・生産力向上へとつながるデジタル技術の効果的な活用方法の習得を行うため、専門事業者によるWebセミナーの開催や、個別相談などの支援を実施した。

- ・Webセミナー：ウイズコロナにおける既存顧客の維持や新規顧客獲得を狙いとし、デジタル技術を活用したオンライン営業のノウハウが習得できるセミナーを実施した。
- ・伴走型支援：既存の営業プロセスや製造ラインの課題を明確化し、DX促進による販路拡大の政策提案を実施した。

セミナー開催数	6回（動画コンテンツ17本）	伴走支援実施回数	24回（6社）
---------	----------------	----------	---------

カ 商業・サービス業に関する支援

(ア) 商店街の空き店舗への出店支援（シャッターヒラクプロジェクト）（第11条）

市内商店街の活性化を目指すため、商店街の空き店舗に出店する事業者に、賃借料又は改装費の一部を補助した。

補助件数	42件	補助金額	2,335万円
------	-----	------	---------

キ 創業に関する支援

(ア) 北九州テレワークセンター管理運営事業（第9条第1項、第2項）

創業支援の中核施設として施設の運営を行う。創業全般に関する相談窓口を設置、他の関係機関等とも連携した創業支援の取組などを行った。

相談受付件数	目標	450件	実績	521件
--------	----	------	----	------

ク 中小企業に関する施策等情報の発信

(ア) 中小企業振興施策の情報発信（第9条第9項）

中小企業の振興に関する各種施策については、「北九州市中小企業支援ガイドブック」や「ネットワーク北九州」、「北九州商工会議所や中小企業団体のメルマガ」、「緊急経済支援策の新聞折り込み」など各種情報媒体を通じて、情報発信を実施し、中小企業の振興に関する市民の理解を深めたうえで、施策を推進した。

(イ) 学校教育における中小企業の魅力発信（第9条第10項）

中小企業が本市経済の発展に果たす役割の重要性並びに中小企業者の実績及び魅力の発信を行うものとして、学校教育において、中小企業を含む市内企業の協力のもと、工場見学や企業協同のイベント（ゆめみらいワークなど）を実施した。

ケ SDGsに関する支援

(ア) 北九州SDGs登録制度（第9条第1項、第2項、第4項）

今後、企業等が経営を行っていく上で、SDGsの取組は不可欠な要素であり、対応しないと市場から淘汰されかねない潮流となりつつある。そのような中で、本市においては令和3年度に、SDGsの達成に寄与する企業等の取組内容を「見える化」するための「北九州SDGs登録制度」を創設した。

コ 経営に関する支援

(ア) 中小企業支援センター特定支援事業（第9条第1項、第12条）

中小企業の経営革新を促進するため、「中小企業支援センター」において、経営相談、専門家派遣、情報提供などをワンストップで実施するとともに、巡回専門相談員やマッチングコーディネーターによる企業訪問を実施した。

窓口相談	1,544件	専門家派遣	41件
------	--------	-------	-----

(イ) 巡回指導及びマッチングコーディネート事業（第9条第1項、第12条）

中小企業支援センターに配置した巡回専門相談員が、市内の中小企業を訪問し、情報提供を行うとともに経営課題の解決に向けた支援施策の紹介等を実施した。また、中小企業支援センターの専門的知識を有するマネージャーが、その専門性や人的ネットワークを活かして販路開拓支援を行った。

訪問企業数	259社（うち小規模164社）	マッチング件数	31件
-------	-----------------	---------	-----

(ウ) 各種施策への中小企業の意見反映（第9条第2、3項）

中小企業の振興に関する施策の実施にあたっては、市内中小企業団体からの中小企業対策に関する要望活動や、市内中小企業団体、支援機関、大学などで構成する中小企業団体等との意見交換会の開催などを通じて、中小企業に関する実態把握および中小企業からの意見を反映したうえで、施策を推進した。